

1 学校教育目標（知）

自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします。

2 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

3 評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

4 評価の仕方

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○授業課題 ワークシートの記述や授業課題への取り組み方を評価します。</p> <p>○実技テスト 曲の表情や味わいを生かした、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけているかを評価します。</p> <p>○定期テスト 定期テストで知識の定着を図る問題を出題し、評価します。</p>	<p>○授業課題 ワークシートの記述や授業課題への取り組み方を評価します。</p> <p>○定期テスト 「鑑賞」では、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて理解しているか問う問題を出題します。また「表現」では、それらを踏まえてどのように表すかについて思いや意図ももっているか問う問題を出題します。</p>	<p>○授業課題 ワークシートの記述や授業課題への取り組み方を評価します。</p> <p>○学習への取り組み 学習課題への取り組み方、またそれらの振り返りを評価します。様々な音楽活動に意欲をもって学習に取り組む態度を評価します。</p>

※ 3つの観点には軽重はありません。観点別評価の換算値で評定を算出します。

※ それぞれの観点の中の評価方法には軽重があります。（例 授業課題より実技テストの比重が大きい等）